

市広報

# 伸びゆく三田

令和2年  
(2020年)  
7月1日

No.1103  
毎月1日・15日発行

主な記事

2・3面：特集 今、ここにある気持ち  
「ありがとう」を綴ろう  
4面：特定健診・がん検診



発行／三田市役所 〒669-1595 兵庫県三田市三輪 2-1-1 ☎079-563-1111 (代表)  
編集／秘書広報課 ☎079-559-5040 FAX 079-563-1366

20 秘 8-011 他



ここから  
チェック

## これからも ずっと。

7月1日は、三田市の誕生日です。誕生から62年、時の流れとともに移り変わってきた風景、ずっと守りつないできた歴史や自然、人。三田の「宝」は、三田に想いを馳せる人の数だけ存在します。あなたにとって何気ない「日常」も、誰かにとっては「特別」かもしれない。あなたにとっての三田。それはふるさとの香りがする街並みかもしれない。会うとほっとする誰かかもしれない。これからもずっと、三田と。



写真共有ソーシャル・ネットワーキング・サービス Instagram に、#さんだスマイルや #Sanda\_smile を付けて投稿していただいた写真です。日常、癒し、憧れ、誇り。三田を愛する皆さんの想いがつまった写真が、三田で暮らすことの楽しみや喜びを教えてください。

7月1日、三田市は、新型コロナウイルス感染症の影響の中で、62歳の誕生日を迎えました。コロナに負けない「新たな日常」の市民生活を創り上げていかなければなりません。私は、時々、ニュータウンの端にあるお気に入りの高台に登ることがあります。青空の下、市街地の先に、武庫川を挟んで田園地帯がそして山並みまで広がっています。眼下に広がる三田のまちの姿に心が癒されるとともに、新たな三田のまちづくりの想いを巡らせます。

さて、コロナで揺れ続けた三田のまちに、苦しんでいる飲食業者等を支援する活動が若者中心に沸き起こりました。その後、多くの市民の間に、休業等で苦しんでいる市民や感染のリスクに負けないよう頑張っている関係者への支援の輪が広がってきました。コロナというピンチを目の前にした今新たに、共に支えあうまちづくりのチャンスが生まれたと感じました。

市長の「ほっとトーク」  
森のひと言

7月1日、三田市は、新型コロナウイルス感染症の影響の中で、62歳の誕生日を迎えました。コロナに負けない「新たな日常」の市民生活を創り上げていかなければなりません。私は、時々、ニュータウンの端にあるお気に入りの高台に登ることがあります。青空の下、市街地の先に、武庫川を挟んで田園地帯がそして山並みまで広がっています。眼下に広がる三田のまちの姿に心が癒されるとともに、新たな三田のまちづくりの想いを巡らせます。

7月1日、三田市は、新型コロナウイルス感染症の影響の中で、62歳の誕生日を迎えました。コロナに負けない「新たな日常」の市民生活を創り上げていかなければなりません。私は、時々、ニュータウンの端にあるお気に入りの高台に登ることがあります。青空の下、市街地の先に、武庫川を挟んで田園地帯がそして山並みまで広がっています。眼下に広がる三田のまちの姿に心が癒されるとともに、新たな三田のまちづくりの想いを巡らせます。

7月1日、三田市は、新型コロナウイルス感染症の影響の中で、62歳の誕生日を迎えました。コロナに負けない「新たな日常」の市民生活を創り上げていかなければなりません。私は、時々、ニュータウンの端にあるお気に入りの高台に登ることがあります。青空の下、市街地の先に、武庫川を挟んで田園地帯がそして山並みまで広がっています。眼下に広がる三田のまちの姿に心が癒されるとともに、新たな三田のまちづくりの想いを巡らせます。